



## ニセ電話詐欺の被害防止

平成28年上半年期のニセ電話詐欺の被害状況

- 被害額 3億5,432万円(前年同期比 -8億4,086万円) ※70%減
- 認知件数 166件(前年同期比 -98件) ※37%減
- 1件あたりの被害額 211万円(前年同期比 -244万円) ※54%減
- 1日あたりの被害額 288万円(前年同期比 -700万円) ※71%減

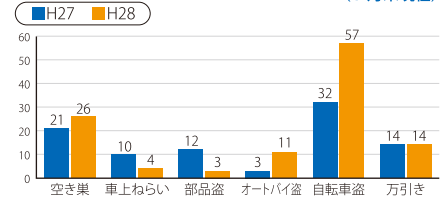
### 防犯ポイント

- 電話で「お金」の話が出たら詐欺を疑う
- 必ず家族や警察に相談する
- 在宅中でも留守番電話をセッティングしておき、直接電話に出ないようにする
- 家族や地域住民が、積極的に高齢者に注意喚起や声掛けをする

迷惑電話防止機能付き電話機がニセ電話詐欺の対策に効果的です

電話で「お金」は、すべて詐欺！すぐに相談・110番！

小郡警察署管内の犯罪および交通事故の発生状況 (7月末現在)



- 刑法犯発生件数 213件(-34件)
- 交通事故発生状況  
発生件数 183件(-26件)  
死者数 0人(-1人)  
傷者数 226人(-32人)

※( )は、昨年同月比を示す

毎月9日は  
防火の日

こちら119

久留米広域消防本部  
三井消防署 ☎72-5101



## 9月9日は救急の日

「救急の日」は、救急業務および救急医療に対する理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和57年に定められました。以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を「救急医療週間」(今年は9月4日~10日)としています。この機会に応急手当について考えてみませんか？

### 応急手当の重要性

傷病者の救命のためには、心停止などの早期認識と通報、救急現場に居合わせた人による応急手当、救急隊や医療機関による処置の連携がスムーズに行われることが不可欠です。

応急手当(心肺蘇生法など)の方法については、久留米広域消防本部のホームページ「こんなときどうする！救急編」に掲載していますので、ぜひご覧ください。

### その救急車、本当に必要ですか？

緊急でないときに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする事故や急病が発生した際、遠くの消防署から救急車が出勤することになります。その結果、現場到着までに時間を要し、適切な救命処置が遅れ、救える命が救えなくなることがあります。

救急車を本当に必要とする人のために、救急車の適正な利用にご協力ください。

※緊急に医療機関へ搬送しなければならないと思ったら、迷わず119番通報してください

### こんなケースで実際に救急車が呼ばれました

- ・病院でもらった薬がなくなった
- ・包丁で指を切った(出血なし)
- ・病院で長く待つのが面倒だ
- ・蚊に刺されてかゆい
- ・今日入院するから病院まで行きたい

## 消費生活相談室

小郡市消費生活相談室  
☎72-2111内線144

窓口開設日  
毎週月・火・木・金曜日  
午前9時~正午、午後1時~4時

## スマートフォンでの不正アプリのインストールに注意

**相談事例** 過去にインストールしたアプリを確認したところ、IDや連絡先、位置情報などの読み取り許可を求めている不審なアプリを見つけた。既に個人情報や連絡先を盗み取られたのだろうか。(20代、女性)

**ひとこと助言** 一度不正なアプリをインストールしてしまうと、そのアプリを削除しても、既に個人情報が盗みだされているなど、取り返しがつかない場合もあります。アプリのインストール前に、下記の事項をチェックし、少しでも不審だと思うときはインストールを中止しましょう。

- ①安全性の審査を行っているアプリ提供サイトからインストールする
- ②不自然な情報や機能の取得・利用を求めるアプリではないか確認する

※アドレス帳へのアクセスを求めるようなアプリをインストールすると、アドレス帳に登録されている電話番号や個人情報を読み取られる可能性があります

- ③インストールする前に、アプリの評価などの情報を収集する

〈技術的な内容に関する相談窓口〉 IPA情報セキュリティ安心相談窓口 ☎03-5978-7509

ホームページ <https://www.ipa.go.jp/security/anshin/>